第43号

調布市文化協会
調布市小島町２-33-１ 調布市文化会館たづくり6F
URL：http://www.chofushibunkakyokai.jp
chofu-bunkyo@bj.wakwak.com

文化の波を伝える～文化協会への期待～

調布市生活文化スポーツ部長　塚　越　博　道

久しぶりに英語辞書を引いてみました。cultureとは「人間が長年にわたって形成してきた習慣や振舞いの体系」と書かれていました。また、語源となっているラテン語は、「自然」や「未開」の対極として「耕す」「培養する」「洗練したものにする」という意味でした。人の心を耕し人の集団によってのみ作られ、社会の成熟とともに繊細さと精緻さの度合いを高めていくことが、本来の文化であり文化活動と言えるのでしょう。

人に平等に与えられている時間を他者のために使うのが奉仕であり、ボランティア活動と言うのであれば、自分のために使うのが学習活動だと言えます。しかし、自身が習得した知識や技術を少しでも他者のために伝えることができ、人々の心が耕され、種が蒔かれ、花を咲かすことができれば、それは人から人への学習の波を伝える本来の文化活動であると言えます。美術、音楽、演劇、舞踏、書画など、どれをとっても人から人へと受け継がれ、長い歴史を刻んできた文化であり、時代とともに少しずつ変化してきました。

さて、前置きが長くなりましたが、本年四月一日付けで調布市の文化施策を担当することになりましたが、私は自分自身の業務目標を「市民が健康で元気に笑顔で生き生きと生活するために何をすべきか」と定めました。そして、私の目標の一翼を担ってくれるのが、まさに調布市文化協会の活動であると信じています。市民が毎日を楽しく過ごし、人から人へ文化の波を伝えていく活動こそ、人間関係が希薄となっている現代に求められているものであり、必要なことだと思います。人生80年といわれている時、人は知識や技術を向上させたい、様々な本物の技術を耳や肌で感じてみたいと思うとともに、自分の得た知識や技術を誰かに伝えたいとも思っています。

それは文化活動でもスポーツでも、様々な趣味嗜好の世界でも共通に言えることだと思います。常に新しい情報、知識、技術を得て他者に伝えていくという一つひとつの作業が、文化を創るだけでなく人々の歴史を築いていくことになるのだと思います。

調布市文化協会の様々な活動によって、人々の心が耕され種が蒔かれ、やがて大輪の花が咲き、22万調布市民が元気で活き活きと生活できるよう願っています。調布市文化協会の益々のご発展を心よりご期待申し上げます。

※文化協会の所管・要でもあります生活文化スポーツ部部長に四月就任された塚越博道氏は、東京マラソンに二回出場されたスポーツマンですが、以前より文化協会に対する思いは熱く、ご理解いただいております。所管の部長としてあらためて文化協会に対する思いを書いていただきました。

〈文化協会会長　高岡　宮子〉

第43回定期総会開催される

2009（平成21）年度
調布市文化協会第43回定期総会

日　時	2009年4月24日（金）18時～
場　所	調布市文化会館たづくり12Ｆ大会議場
出席者	80人　欠席　3人
委任状	5人　（構成員88人）
議　長	樋口尚也氏（吟剣詩舞道連盟）

第43回定期総会が標記の通りに開催されました。

恒例通りに高岡会長の挨拶に始まり、来賓の長友市長及び広瀬市議会議長よりご祝辞をいただきました。

議長に吟剣詩舞道連盟の樋口尚也氏、書記に文化協会庶務の奥平恭子氏が指名され、議事に入りました。

第1号議案・08年度事業報告

第2号議案・08年度一般会計決算報告及び08年度コミュニティサロン調布入間町会計決算報告が行われ、それぞれ承認されました。

第3号議案・09年度事業計画（案）及び09年度一般会計予算（案）が説明され、審議の結果いずれも承認されました。

08年度には、文化協会のホームページも立ち上げ、文化協会のロゴマークも設定いたしました。

調布市文化協会加盟団体・代表者一覧

加盟団体名	代表者	電話番号
調布市アマチュア囲碁連盟	丸茂　一	〇四二—五九二—四六九二
調布市いけばな連盟	江口勝子	〇四二—四八八—六二二八
調布映像協会	吉田正夫	〇三—三三〇〇—九八三〇
調布エスペラント会	山野　裕	〇四五—九六一—二三七八
調布市演劇協会	山根久幸	〇四二—四八二—三二七三
調布市音楽連盟	奥平恭子	〇四二—四八四—八九四四
調布市歌謡同好会連盟	齋藤一正	〇四二—四八五—二二四一
調布市奇術協会	岳野勝治	〇四二—四八五—一三九五
調布市吟剣詩舞道連盟	連代義明	〇四二—四八二—八七八三
調布工芸美術協会	大山雅子	〇四二—四八二—八四二九
調布市茶道連盟	※組織編成調整中	
調布三曲協会	門傳良男	〇四二—四八六—四四七二
調布市社交ダンス連盟	泉　梅信	〇三—三三〇〇—六六一三
調布写真連盟	前田　豊	〇四二—四八四—三〇〇七
調布市将棋連盟	宇都宮靖彦	〇四二—四八二—二九五三
調布市書道連盟	小川美代子	〇四二—四八七—一三一八
調布市大正琴連盟	安部妙子	〇四二—四八二—三五〇〇
調布市ハワイアンフラ協会	富澤登代子	〇四二—四八二—一二九二
調布市美術協会	宮本正章	〇四二—四八六—七四二三
調布市フラワーデザイン協会	高部フミ子	〇四二—四八二—〇五九七
調布市民謡連盟	市川　徹	〇四二—四八七—八〇八八
調布市民謡舞踊好友会	両角秀子	〇四二—四八二—六三八三
調布洋舞協会	甲斐　浩	〇四二—五九一—三六〇二

調布市長と語る文化懇談会

調布市文化協会会長
高岡　宮子

文化協会総会が終了し、その年の調布市民文化祭実行委員会が組織され、さらに他県市文化協会との交流（今年は魚沼市文化協会）が終了したこの時期に、毎年調布市長と文化協会理事（加盟22団体より二名選出）による「調布市長と語る文化懇談会」が事業計画に組まれ、今年度は六月二十九日に実施しました。

テーマは『調布市におけるより良き文化活動とは……』と題しましたが、調布市長に要望するでは無く、返答を求めるでも無く、お互いに雑談を通し理解し合う「場」となればとの思いと共に、この懇談会で得たことがらを今後の『より良き文化活動』に繋がることを希望し、実施しました。

―懇談会での主な話題―

＊『ハード面での街づくり』
＊『国民体育大会』（平成25年）
＊NHK朝の連続テレビ小説『ゲゲゲの女房』
＊調布市内大学六校の全学長が出席し開催予定のシンポジウム『新しい町での学園の役割』
＊調布市の指定管理者制度
＊調布市内の企業の活性化

この様な話題が懇談されましたが、国民体育大会は、調布市がメーン会場となり、開会式・閉会式、陸上競技サッカーが行われる予定であることや、スタジアムの隣に建設予定の大小アリーナは、文化活動にも利用できる要素も考えられるなど期待が高まる思いと共に、来年春から放映のNHK朝の連続テレビ小説『ゲゲゲの女房』に関し、市民からのアイデア募集ではその集計は三百件を超えた事などの話も聞くことができました。

また、私たちが最も関心を寄せている文化会館たづくり、グリーンホールの指定管理者制度導入については、無関心さを反省すると同時に、制度導入の是非等を含め真剣に勉強し、早急に取り組んで行く必要があると痛感しました。

この懇談会をとおし、調布市長の市民を思い、先を見据えた計画の遂行に努力されておられることに感動すら覚えた次第です。

私たちも、調布市の実情を一部なりとも把握できました事を糧に文化協会として、また一人ひとりが何を成すべきか、今後さらなる調布市民文化生活の向上に努めていかなければと再確認し、有意義な懇談会を終えました。

調布市文化協会役員

任期　平成二十二年三月三十一日まで

〔会長〕
高岡　宮子（フラワーデザイン協会）

〔副会長〕
吉井千香子（美術協会）
宮本　正章（美術協会）

〔事務局長〕
門傳　良男（三曲協会）

〔事務局次長〕
奥平　恭子（音楽連盟）

〔会　計〕
加藤　弘子（民謡舞踊好友会）
山岸　直子（ハワイアンフラ協会）
江口　勝子（いけばな連盟）

〔庶務〕
岳野　勝治（奇術協会）

〔会計監査〕
海老澤　勇（歌謡同好会連盟）
大島　茂代（洋舞協会）

新潟県魚沼市文化協会と交流

調布市文化協会副会長　宮本　正章

平成21年度調布市文化協会研修交流旅行は新潟県の魚沼市文化協会との交流で５月31日の早朝新潟県南魚沼市小出方面に向かいました。

魚沼市は豪雪地帯で冬の雪から解放される五月はいっせいに新緑が広がり、花は咲き、山菜も豊かで、雪解けの清流がきらめく、一年で最も輝く季節を迎えています。

魚沼市文化協会は小出郷文化協会として平成11年に発足し、その後町村合併等で魚沼市文化協会となり現在にいたっています。

発足以来10年目を迎えて芸術分野である絵画部門では郡展となっていたものを協会展にし、さらに各地域ごとに行われていた美術展を統合させて審査制を取り入れ、さらに出品作品を増やすために、他の地域や他県からの出品も受け入れているとのことでした。まだ十年目ということと、合併に伴い非常に広い地域に会員が分散していることから、会議をもつ時にはメンバーの移動に一苦労すること、また、各地域での催しにお互いに参加したり、合同したりすることで大変な苦労をされているようでした。

行政中心の運営であるため、小出郷文化会館館長が大きな協力をされていて、小出会館は市の直轄で運用されていることから、調布市文化協会が自主的な活動をしていることに感動し、将来の発展すべき姿を勉強できてうれしいが、現在のところまだまだそこまではとてもいっていないとのことでした。さらに（財）調布市文化・コミュニティー振興財団が調布市の指定管理者となっていることの話題に関しては、魚沼市としては現在は勿論、将来もそのようなことにはなりたくないし、してはいけないと思っており、それに関しては行政が責任をもって会館の運営を行っていくつもりであるとのことでした。この辺のことは文化発展のためにかなり深く考えておられることと、多少うらやましく感じられたところでありました。

約二時間にわたり貴重な意見交換を行い、お互いにうちとけた素晴らしい交流会となりました。

この日はちょうど魚沼市文化協会十周年の記念すべき式典および懇親会が予定されており、夜までお付き合いできず大変残念であるとの挨拶の後、和やかなうちに終わりました。

―研修旅行に参加して―

魚沼市の「雪と稲」

美術協会　山本　恒春

5月31日(日)午前7時、高岡会長はじめ35名を乗せたバスは〝たづくり会館〟をあとに、魚沼市に向って出発しました。天候はいま一つでしたが、山並が眺められる頃には宮本副会長の音頭で歌唱メドレーを全員合唱し、少年少女に返ったよう、その頃にはお日様も顔を出してバスも快走、役員の方には飲物お菓子等々ご面倒もみて戴きありがとうございました。

予定より早く西福寺（魚沼市）に到着、なぜ開山堂なのかと不思議に思いながら、ふと本堂の天井を観ると唖然としました。龍と猛虎が乱舞している極彩色の漆彫、時が止った感じでした。しかしあの壮大精巧な漆彫をどうしてセッティングしたのか、ともあれ禅寺とは思われない印象でした。

昼食後、一時より魚沼市文化協会と約二時間にわたり文化活動について意見交換がありました。詳細は記せませんが、ただその地に合ったやり方で良いのかと思いました。因に魚沼市のマークデザインは豪雪地を思わせる「雪と稲」だそうです。底辺にはボランティアの心が原動ではないかと感じさせられました。

次の酒造見学では、雪積の酒蔵と46度の清酒は物珍しさも手伝ってのおみやげでした。その夜の宴会では仮装のフリフリスカートでゲゲゲの鬼太郎のメロディーに合わせたラインダンスに大笑い…。

帰途は、みやげもの、思い出を積んで調布へと走って行くのでした。この度は会長はじめ役員方々の陰でのご苦労に感謝致しております。文化活動はボランティアのこころから生まれてくるもの……。

皆さん無事帰宅、二日間にわたり安全運転なさった運転手さん、ありがとうございました。

魚沼市の文化活動にふれて

歌謡同好会連盟　小口　守

今回は調布市文化協会と魚沼市文化協会の研修交流の旅でした。

平成21年5月31日市役所駐車場前を出発、西福寺開山堂を見学、昼食後無事魚沼市小出ボランティアセンターに到着。午後一時より交流会と懇親会に入りました。魚沼市文化協会桜井会長のご挨拶で魚沼市文化協会の概要をお聞きしましてその特異なる事情とご苦労がよくわかりました。

平成16年に北魚沼六ヶ町村が合併し広大な土地に人口四万強とか中越大地震や豪雪地帯であるため何をやるにも大変ですとのお話にわが調布市との事情の違いにそのご苦労の様が目に浮かびました。

次に調布市文化協会高岡会長より挨拶と調布市文化協会概要を中心にお話をされ、無駄のない言葉の運び、立板に水の話術には先様も私共も只々感激致しました。魚沼市文化協会10年の歩みと調布市文化協会43年の歴史の重みがひしひしと伝ってきました。質疑応答は真剣で大変内容の濃い結果となり有意義でした。魚沼市文化協会の方々の何かを学びとろうとする謙虚なお姿が非常に印象に残りました。これも高岡会長の見事な話術の成せる技と改めて感激しました。

交流会を終えて魚沼市の皆さんのお人柄からして素晴らしい文化協会に発展なされることでしょう。

清々しい交流の旅でした。

最後にこの度の企画にご尽力された役員の皆さんに心から感謝申し上げます。

実技講座

「花と遊ぶ」 小原流いけばな入門

調布市いけばな連盟　才目　千晶

優雅な美しさの小手鞠、品位の高い白カラー、清々しい新緑の未央柳など、季節の花材を用いて、4月から5月にかけて3回、実技講座を開かせていただきました。

新鮮な発想や驚きを大切に、生け花の美しさを理解していただくことにポイントを置きました。

「花と向き合って考える時間が有意義でした。毎日ドタバタと過ごす中、いい時間ができました。」

「家で活ける時も、教えていただいたイメージで、ちょっと向きを変えただけで花の表情が変化するのに驚きました。」

「3回とも楽しく毎回違う活け方と花材に集中していけ花の実技を教えていただけました。」

といった感想が寄せられ、継続したいという方々がおられるなど、貴重なチャンスをいただいたおかげで人の輪が広がりました。

市民が気軽に参加できるこうした意義のあるプログラムを、これからも続けていただきたいと考えております。改めまして関係各位の皆さまに御礼を申し上げます。

デジカメ＆ビデオ初級講座

調布映像協会　黒澤　眞

4月14日、15日の二日間デジカメ＆ビデオの初級講座を開催しました。

昨今のデジカメ普及率は非常に高く皆様スナップ撮影や旅行に行った時沢山撮影しています。

しかし意外にカメラの操作については無関心で余り取扱説明書は読んでいないのが実情です。

特に最近のデジカメは高機能になっていて取説を見ても分かりずらいと言う人が多く居ます。

講習会ではカメラを買った時に最初に行う事、撮影した写真の確認、メモリー・カードの整理、特に初心者が苦手とする手ぶれの防止、半押しのピント合わせを重点的に学習しました。

更に人物、風景、夜景撮影等少し高度の勉強も行いました。

また今年も会場の外に出て簡単な撮影会も行いましたので理解が深まったと思います。

次回の講座では希望の多かったパソコンへの取込みを検討したいと考えています。

将棋初心者講座

調布市将棋連盟　宇都宮　靖彦

今回は6月6日より3回にわたり「将棋初心者講座」を開催しました。ところで皆様「初心者講座」と「入門講座」の違いをご存知でしょうか？　将棋の場合、「入門講座」は駒の動かし方やルールから教えるコース。「初心者講座」は駒の動かし方などは知っているが、戦い方が分からない、王の詰め方が分からないなど始めて日の浅い方を対象にします。今回は6枚落ちの定跡と、一手詰め、三手詰めなどの詰め将棋の講義を主体にして、あとは石堀講師の実戦指導が中心となりました。石堀講師は、現在は東府中で将棋教室を開いていますが、昭和の終わり頃、調布市役所将棋部の師範であった石田和雄九段の門下生としてプロの道を目指したこともありました。その後体調をくずしたこともあり、今は熱心に普及活動に取り組んでいます。今回も丁寧で分かりやすい説明で好評でした。

調布市将棋連盟では、ここ数年女性や学童を対象に実技講座を開催してまいりましたが、今年は一般に対象を広げて実施しました。しかし参加人員15名のうち熟年男子3人学童3人残りは女性という相変わらず女性上位の調布将棋界の現状でした。

鎌倉彫実技講座

調布工芸美術協会　田口　平八郎

6月13、20、27日いずれも土曜日に鎌倉彫の実技講座を開催させていただきました。参加者は延36名。一日目は鎌倉彫の最も基本である薬研(ヤゲン)彫、即ち練習用の手板に小刀で一直線にV字形に彫り進める練習をいたしました。最初はジグザグに、また、幅も一定にならず苦労しましたが二時間後には彫刻刀も上手に使えるようになりました。

二日目からは直径18㎝のカツラの皿に付けられた2羽の雀を図案通りに薬研彫で彫り進めました。参加者の方々は、私語もなく集中して彫っておられたので想像以上に早く出来上がりました。

作品は漆を塗られ、数ヶ月後にはお手元に届くことでしょう。お使いになって、その良さを味わっていただきたいと思います。また、今後より高度な作品にも挑戦していただきたいと思います。

今秋開催、実技講座のご案内

◆**調布市大正琴連盟**
11月15日・22日（日）
13時30分～15時30分
文化会館たづくり9階研修室

◆**調布市奇術協会**
「初めてのマジックⅡ」
11月21日・28日・12月5日（土）
18時30分～20時30分
文化会館たづくり一〇〇二室

◆**ハワイアンフラ協会**
11月28日（土）・29日（日）
13時30分～15時30分
文化会館たづくり9階研修室

第54回調布市民文化祭のご案内

開催期間
10月15日(木)〜11月15日(日)

今回のテーマ
「文化の芽吹き　華やぐ調布」

開会式アトラクション
"江口有香氏・江口心一氏"

今年は10月15日(木)開会式アトラクションとして**「調布育ち姉弟が奏でる弦の調べ」**と題し、新進気鋭の江口姉弟の演奏が行われます。

10月17日（土）18日（日）には例年通り市役所前庭で、コーヒー販売、囲碁、将棋、工芸美術、フラワーデザインの実技講座、ハワイアンダンス、琴の演奏による野外ライブが行われます。

市役所前庭で文化祭プラザ

10月17日（土）よりは21団体の日頃の成果の発表が各会場で行われ、「たづくり」南北ギャラリーを中心に8団体の労作の展示、展覧会が順次行れます。

また、期間中10月31日（土）〜11月8日（日）の間、東部・西部・北部各公民館を中心とした地域文化祭も行れます。

文化協会ホームページ開設及びロゴマークの決定

事務局長　門傳　良男

文化協会のホームページをご覧になりましたか?と言っても展示会のようにどこかに掲げてあるわけではありません。皆さん方のご自宅のパソコンや携帯電話からインターネットに接続して初めて見ることが出来ます。

今、文化協会のホームページはお知らせとして行事の予定を載せています。これは理事や文化祭実行委員の皆さんには直接お知らせをしていますが、それ以外の方でもご自由に文化協会会合等の日程が確認できます。開設間もないことなので、各団体の行事予定等はまだ掲載できていません。

インターネットの特質は、いろいろな情報を正確に早く公開することが使命なので、このことを最優先にしていくつもりです。

1．各加盟団体からの情報を常時受け付けます。

2．更新は文化協会事務局で一〜二週間で行うようにします。掲載したいことがありましたらどんどんお寄せください。

ロゴマーク決定

調布市市章(Ⓖマルチ)の肩に担がれた文化の文字と弾けるような若葉が三枚。その意味は「調布市の文化の芽がさらに発展し、市民と共に躍進する」ということです。

このロゴマークを皆様にかわいがっていただき、大いに利用していただきたいので、文化協会事務局にご相談ください。

文化
調布市文化協会
CHOFU CULTURE ASSOCIATION

=編集担当　奥平　岳野=